第 1 回 交 流 活 動 計 画

活動名	いっしょにあそぼう	
実施月日	令和 6 年 10 月 22 日 (火) (9:50~11:20)	
参加者	うららか保育園 年長組 22 名 (2 名×4 チーム 1 名×14 チーム) グループ番号①~⑱ 担任・園長・保育士 春野平和保育園 年長組 9 名, (2 名×2 チーム 1 名×5 チーム) グループ番号⑲~㉔ 担任・園長 春野東小学校 1 年生 1 組 25 名, (1 名×25 チーム) 校長・担任	
実施場所	うららか保育園 ホール	
活動のねらい	幼児	○ (交流活動に対するねらい) 1 年生と知り合い, ふれあいや交流を楽しむ。 ○ (指導計画に基づくねらい) 1 年生と交流を深めることで小学校生活への期待を高める。
	児童	○ (教科等) 本時の目標 (生活科) 年長さんとの遊びや交流を通して, ペアやグループの年長さんの気持ちを大切にしながら関わろうとする。 ○ (本時の評価規準) 【評価の観点】 年長さんに喜んでもらいたいという思いをもち, 進んで交流しようとしている。【主】
準備物 (持参物)	幼児	・上履き (園に準備してほしいもの: セロハンテープ カラーマジック ビニールテープ オルガン ホワイトボード 磁石 ※プログラムと校歌を貼ります。)
	児童	・名札カード (児童用) ・自分の紙コップ飛行機 ・上履き ・水筒 ・名前ペン ・年長さんへのプレゼント ・ハサミ ・色鉛筆 ・年長さんの名札
	教師	(学校) : ・カラーマジックペン・ビニールテープ・プログラム・校歌の歌詞・工作材料 ・掲示物 (園) : ・セロハンテープ・カラーマジックペン・ビニールテープ
事前の学び (遊び・学習)	幼児	・1 年生との交流会を楽しみに待てるように, お帰りの時間等クラスで話す機会をもつ。
	児童	・年長さんにどんな気持ちになってほしいかを想像しながら準備を重ね, 交流会を楽しみにする。

<活動の展開>

幼児への支援等	時程	幼児・児童の活動	児童への支援等 (◆評価規準)	備考
○期待感をもちながら話を聞いたり, 活動に参加したりできるように声をかける。	9:50	・うららか保育園着 ・ホールに移動 ・整列して並ぶ	○楽しみにする気持ちを大切にしながらも, 落ち着いて行動できるように声をかける。	整列の時に、番号順に並んでください。
○司会の話静静地に聞くことができるよう見守る。 ○安心して活動に参加できるよう, 声をかける。	10:00	1. 始めのあいさつ ・今日のめあてを確認する。	○司会やプログラム係の児童が自分たちで進んで進行できるように声をかける。ように声かけする。	
⑨ いっしょにあそんで なかよくなる				
○司会の話静静地に聞けるよう, 見守る。 ○活動の見通しがもてるよう, 不安な園児のそばで声をかける。		・活動の確認をする。 ・ペア作り ・自己紹介 ・メインの遊び ・プレゼント ・振り返り	○交流の見通しがもてるように, プログラムを掲示する。 ○安心して言えるような雰囲気を作る。 ○補足があれば伝える。	

	10:05	2. 校歌のプレゼント ※オルガンかピアノを貸してください。	○校歌係が作成した歌詞を自分たちで貼れるよう声をかけ、見守る。	
○個々の様子を見守り、必要に応じてことばをかけたり、一緒に自己紹介を行ったりするようにする。 ○初めての場所だと緊張する園児でも楽しめるように、積極的に声をかける。 ○園児と児童の関わりを見守りながら、困っているときは必要に応じて言葉を添える。	10:10	3. ペアづくり ①先生方の自己紹介 ②児童の自己紹介 (自己紹介・あいさつ) ・手遊び(山崎先生) <u>「やきいもグーチーパー」</u>	○初めての関わりなので、安心して自己紹介ができるよう、リラックスした雰囲気づくりをする。 ○名前を尋ねたり、名前カードを渡したりしている児童を認め、声をかける。 ○戸惑っている児童には、友達や教師に聞きながら活動してもよいことを伝える。	<u>1ねんせいには予め、ペアの児童の名前を伝えてあります。</u> <u>グループ番号と名前を手掛かりに年長さんを探すようにします。</u>
○活動に入れない園児がいたら、そばで話を聞きながら、安心して活動に入れるようにする。 ○安全面に配慮する。 ○人数確認を行う。 ○楽しい気持ちに共感していく。	10:20	4. いっしょにあそぼう ①かもつ列車 ※オルガンかピアノを貸してください ②きこりとりす	○ペアの年長児と楽しめるように声をかけ、見守る。 ○触れ合いなどが苦手な児童の近くで一緒に楽しく手遊びを盛り上げる。 ○楽しみながらも、年長さんに気を配りながら落ち着いて遊べるよう声をかける。	
○道具の使い方や遊び方で困っている幼児がいたら、声をかけ一緒に活動する。	10:40	5. つくってあそぼう 【工作：紙コップ飛行機】 作り終わったペアから、園庭で飛ばしてみる。 (雨天時は、作る時間と遊ぶ時間を区切ってホールで遊ぶ。) 10分で作って 10分で遊ぶイメージ	○自分で作った飛行機を手元に持ちながら、年長さんに飛行機を見せながら作り方を教えられるようにする。 ○年長さんの様子を見ながら、作り方や遊び方を伝えられるように声をかける。 ○一人では教えるのが不安な児童には、近くの友達とグループになってもよいことを伝える。 ◆年長さんに喜んでもらいたいという思いをもち、進んで交流しようとしている。【行動・発言】	机 10~14
○園児の気持ちに共感しながら次回の交流に期待が高まるようにする。 ○静かに話を聞くことができるように声をかける。	11:00	6. プレゼント 7. ふりかえり ・ペアで ・1年生から ・年長さんから	○代表者が自信をもって言えるように促す。 ○言葉を添えながら渡せるようにする。 ○「楽しかった」「嬉しかった」だけの振り返りにならないように、「何が」「どうだったのか」を答えられるように声かける。	・感想発表は、まずペア同士で楽しかったこと等を1年生が園児に聞き、その後みんなに発表するようにする。

	11:10	先生から 8. 終わりのあいさつ		小学校は園児を。園は小学生を評価する。
○感謝の気持ちを込めて, 気持ちの良いあいさつができるようにする。	11:15 11:20	・帰る準備をする ・お見送りをする ・うららか保育園発	○元気よく, 心の込めた挨拶をしている児童や, 仲良くなった友達の名前を呼んで挨拶をしている児童を認める。	

事後の学び (遊び・学習)	幼児	・仲良くなった1年生との交流を振り返り, また一緒に遊びたいという思いや, 一緒に遊んだ遊びをもう一度園でやってみたいという気持ちへとつなげていく。
	児童	・交流活動の経験の中での幼児の様子や感想をふり返り, 自分や友達の頑張りや伸びに気付けるようにする。